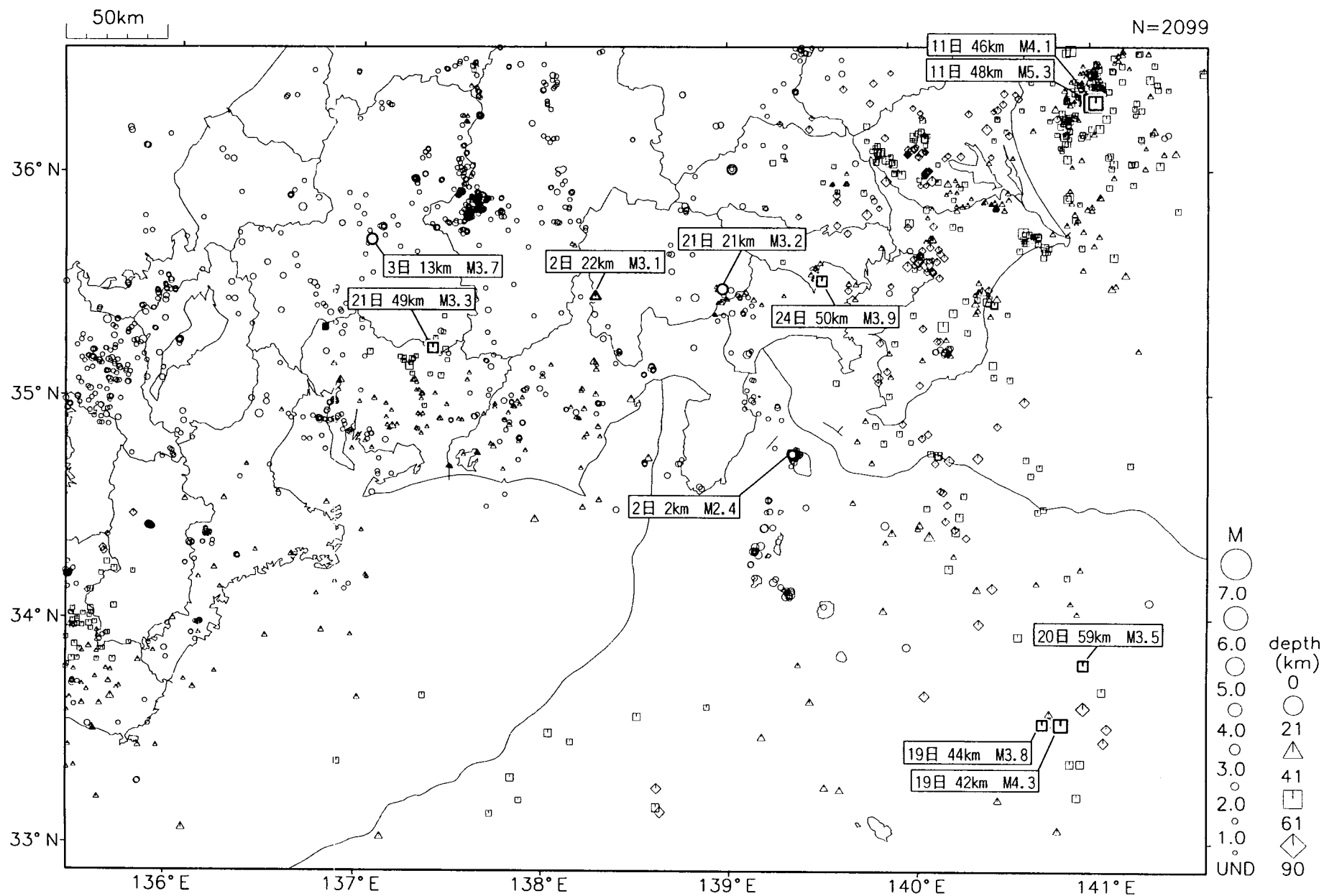
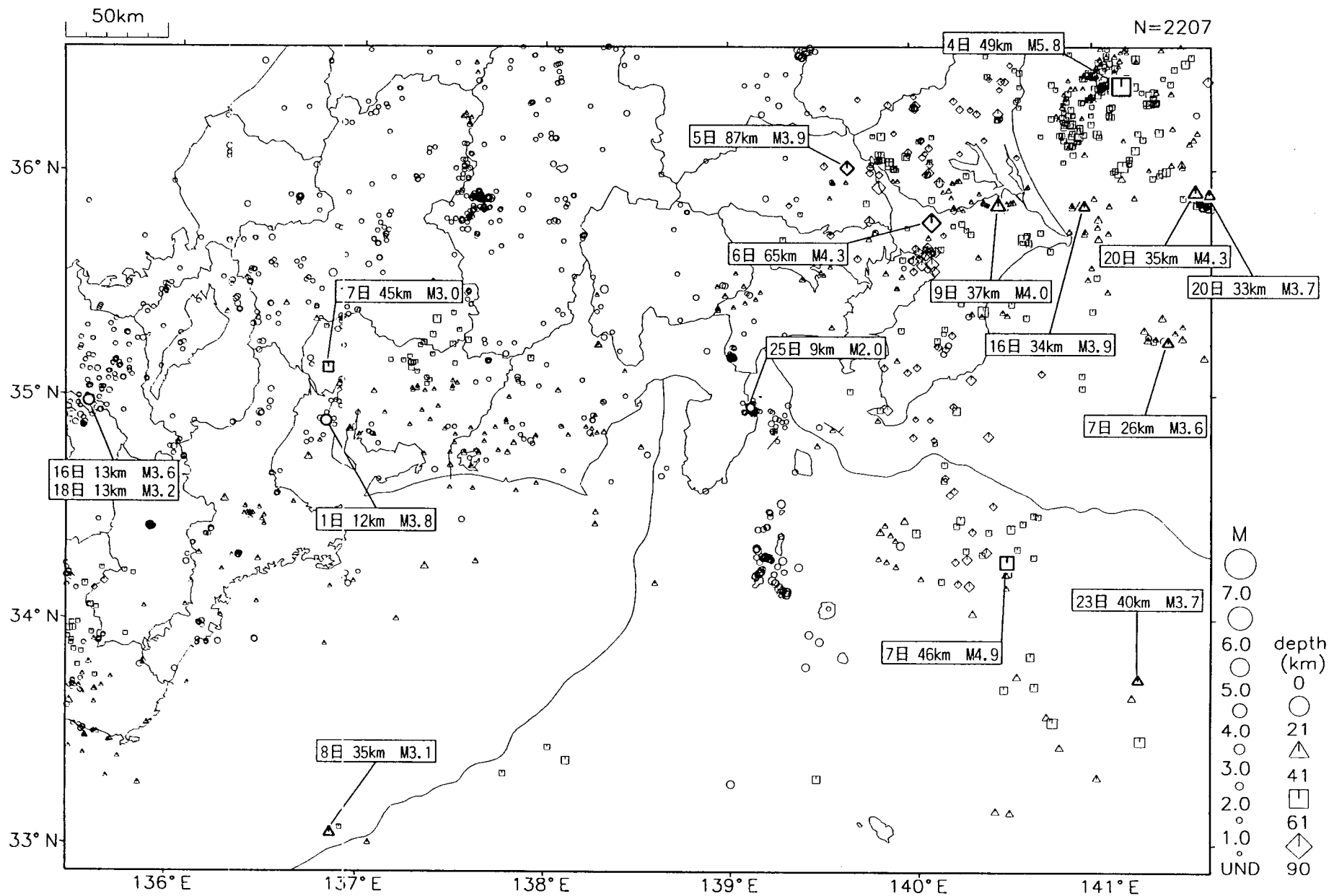


東海・南関東地域の地震活動 2004年3月



気象庁作成

東海・南関東地域の地震活動 2004年4月(1~26日06時)



気象庁作成

東海地域の地震活動レベル

(クラスタを除いた地震回数による)

2004年4月21日 現在

	① 固着域		② 愛知県		③ 浜名湖			④ 駿河湾
	地殻内	フィリピン海プレート	地殻内	フィリピン海プレート	フィリピン海プレート内			全域
					西側	全域	東側	
短期活動レベル	5	4	4	5	4	3	3	6
短期地震回数 (平均)	8 (6.18)	5 (5.83)	3 (4.37)	14 (12.63)	2 (2.38)	4 (6.08)	2 (3.70)	9 (6.18)
中期活動レベル	5	4	5	4	4	2	2	4
中期地震回数 (平均)	21 (18.53)	16 (17.50)	16 (13.11)	38 (37.90)	5 (4.76)	8 (12.15)	3 (7.39)	13 (12.37)

* Mしきい値：

M $\geq$ 1.1：固着域、愛知県、浜名湖、M $\geq$ 1.4：駿河湾

* クラスタ除去：

震央距離が Δr 以内、発生時間差が Δt 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。

$\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7\text{日}$ ：固着域、愛知県、浜名湖

$\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10\text{日}$ ：駿河湾

* 対象期間：

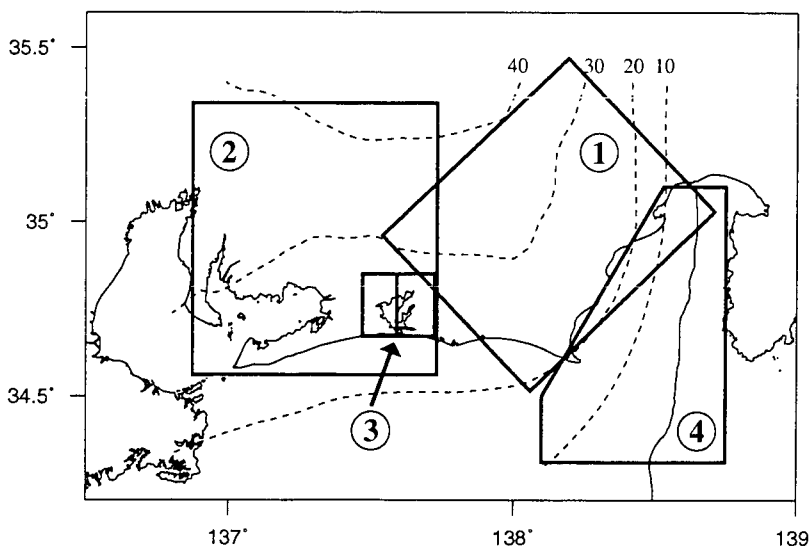
短期：30日間（固着域、愛知県）、90日間（浜名湖、駿河湾）

中期：90日間（固着域、愛知県）、180日間（浜名湖、駿河湾）

* 基準期間：

1997年－2001年（5年間）：固着域、愛知県、1998年－2000年（3年間）：浜名湖

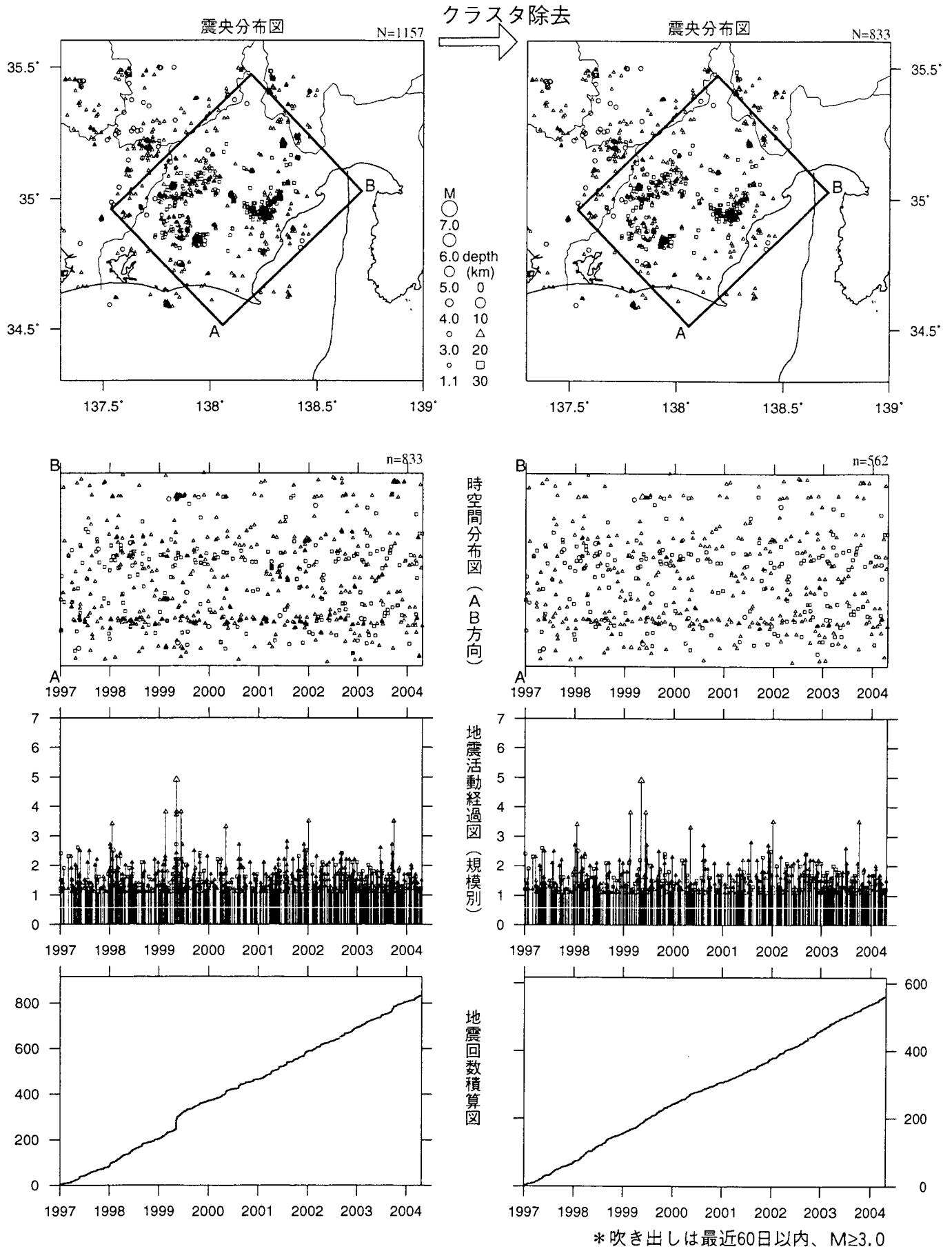
1991年－2000年（10年間）：駿河湾



* プレート境界の等深線を波線で示す。

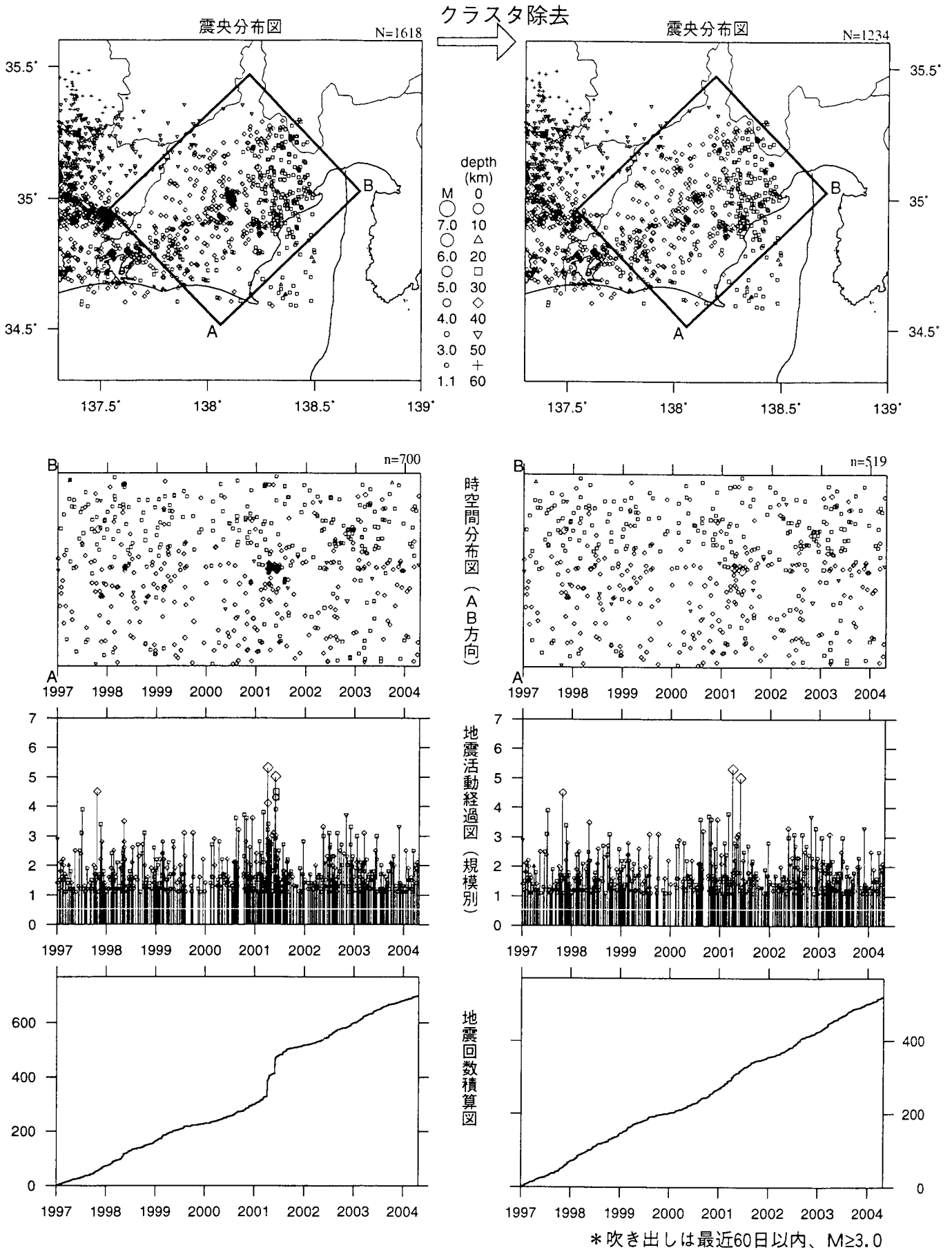
地震回数のレベル化		
レベル	確率 (%)	地震数
8	1	多
7	4	↑
6	10	
5	15	
4	40	
3	15	平常
2	10	
1	4	
0	1	
		↓
		少

固着域（地殻内） 1997/1/1~2004/4/21 M ≥ 1.1



固着域（フィリピン海プレート内）

1997/1/1~2004/4/21 M $\geq$ 1.1

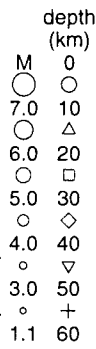
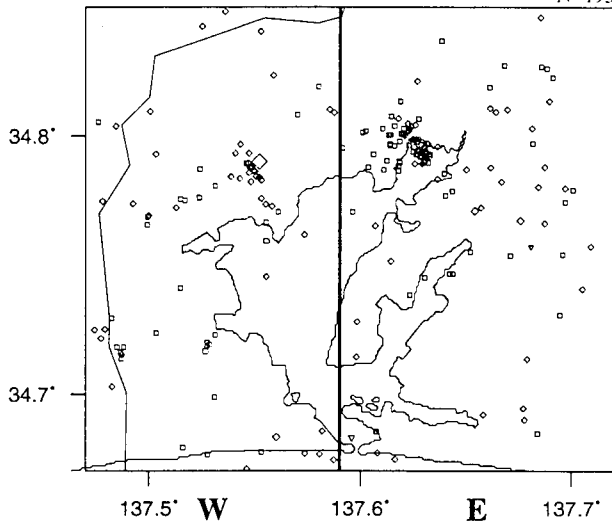


浜名湖（フィリピン海プレート内）

1995/ 1/ 1~2004/ 4/21 M ≥ 1.1 * クラスタ除去したデータ

震央分布図

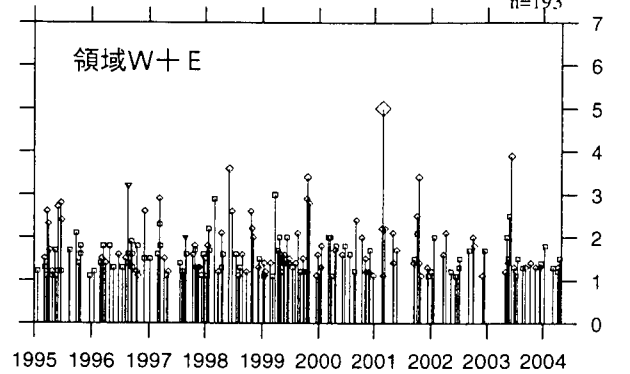
N=193



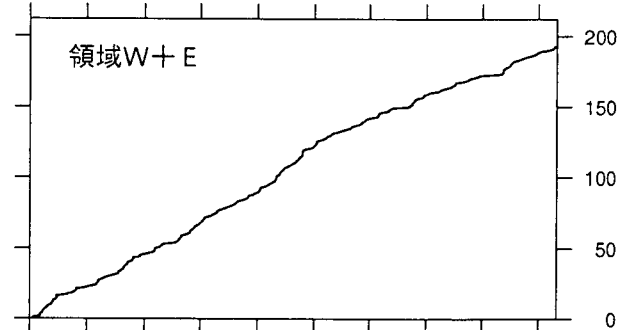
* 吹き出しは最近60日以内、M ≥ 3.0

地震活動経過図（規模別）

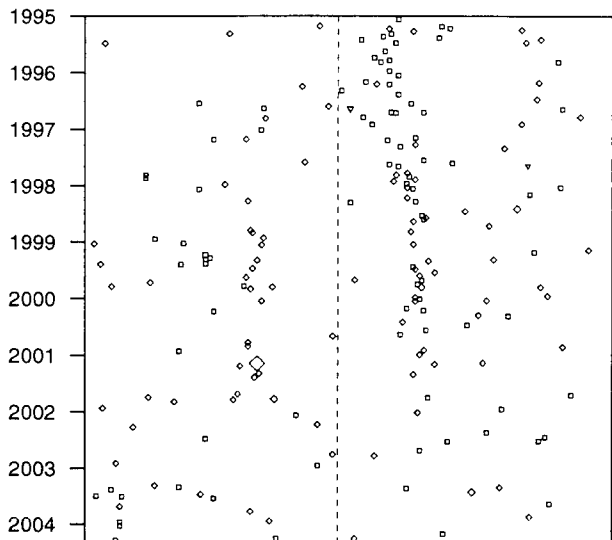
n=193



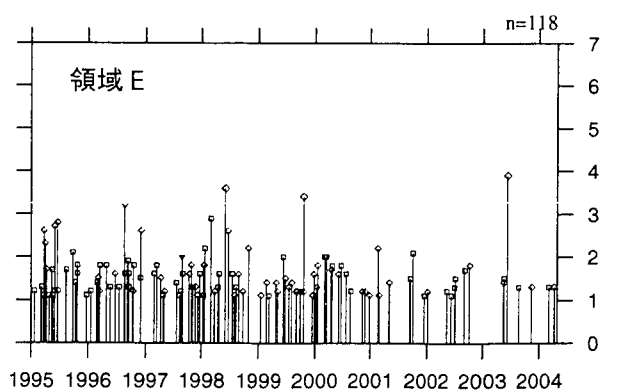
地震回数積算図



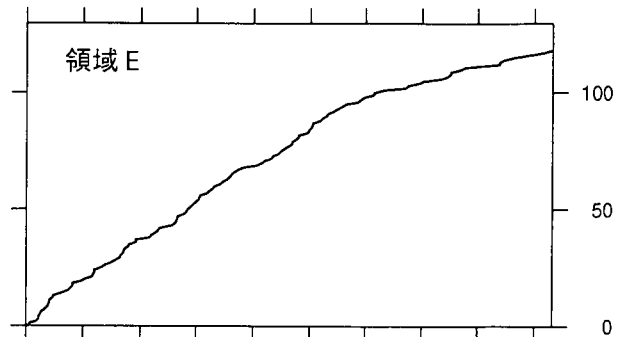
時空間分布図（東西方向）



地震活動経過図（規模別）

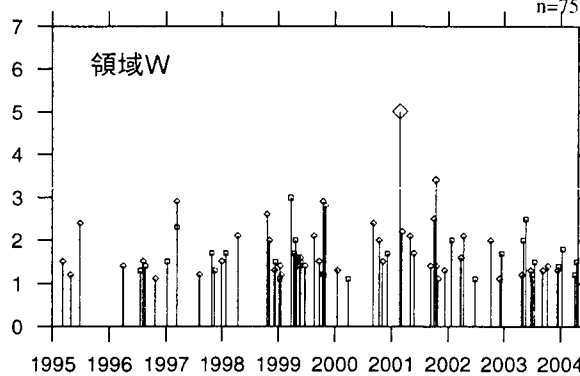


地震回数積算図

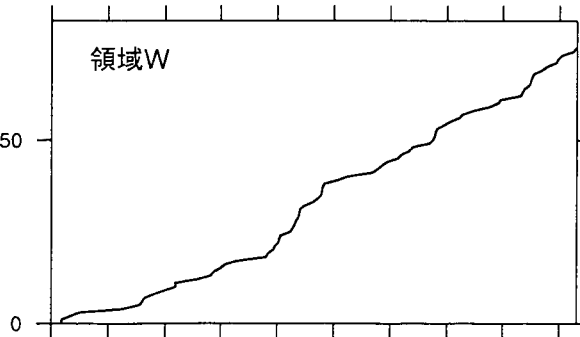


領域W

n=75

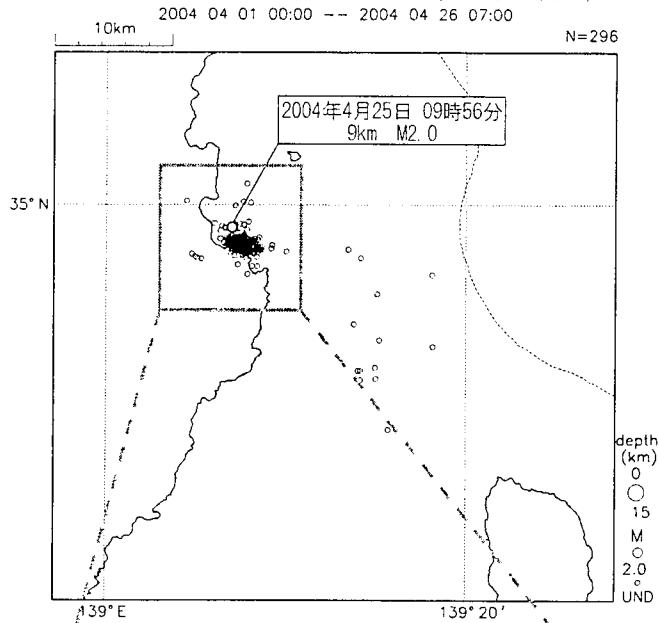


領域W



伊豆半島東方沖の地震活動

震央分布図(M すべて、2004 年 4 月 1 日～)



2004 年 4 月 24 日から伊豆半島東方沖で小規模な地震活動が始まり、25 日にやや活発になった。現在（4 月 26 日 07 時）も小規模な活動は継続している。今回の活動の最大規模の地震は、4 月 25 日の M2.0（無感）である。

伊豆半島東方沖でまとまった活動は、2003 年 6 月（最大 M2.3）以来であり、今回の活動域は前回のやや北西側に位置する。

